

平成 30 年度 ボイラー・圧力容器等研究助成 申請課題の概要

<b>研究課題の名称</b>		
<b>申請者(研究代表者)</b> フリガナ 氏名： 生年月日：19XX 年 XX 月 XX 日 (XX 才)  所属機関：xx 大学大学院 xx 研究科 xx 専攻 職位：xxxx 学位：xx 所属機関所在地：(〒xxx-xxxx) xxx 県 xxx 市 xxx 町 xxx [TEL] [FAX] [本人 E-Mail] xxxxx@xxx.xx.xx		
<b>研究期間</b> 平成○年○月～○年○月	<b>研究予算総額</b> A, AAA 千円 (助成申請額と自己資金の総額)	<b>当協会への助成申請金額</b> a, aaa 千円
<p><b>研究概要</b> 3 ページ目以降の記述内容を <b>500 文字程度</b>に要約してください。最も重要なポイントについて、アンダーラインを引いてください。各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください。</p> <p><b>1. 申請者の略歴, 研究分野, 業績</b> 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください。</p> <p>1) 学歴・職歴(大学入学から記載してください)</p>		

2) これまでに行った主な研究

3) 受賞関係 (年月, 表彰機関, 受賞の名称, 題名など)

**2. 共同研究者** (申請者と共同して研究プロジェクト全体に参加する研究者), **研究協力者** (補助的あるいは部分的に参加する研究者) どちらであるかを囲み線で示し, 共同研究者はエフォート(研究充当率)と分担事項, 研究協力者は協力事項を記入して下さい。

① [氏名・年齢] (才) [所属機関・職名・学位]  
(共同, 協力) エフォート: % 分担・協力事項:

② [氏名・年齢] (才) [所属機関・職名・学位]  
(共同, 協力) エフォート: % 分担・協力事項:

③ [氏名・年齢] (才) [所属機関・職名・学位]  
(共同, 協力) エフォート: % 分担・協力事項:

**3. 申請研究の内容** 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください

1) 研究の背景・今までの経緯

2) 研究の目的・目標 複数の課題に分けても結構です

3) 設定された目的・目標（あるいは個々の課題）の達成方法

4) **研究計画** 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください。  
助成金の使途と関連づけ、サブテーマ等に分け説明してください。各サブテーマ等のタイムテーブルを示して下さい。

タイムテーブルの例

4月	7月	10月	1月
①試料作成			
②各種時効処理			
③組織観察,機械試験		⑤腐食環境中疲労試験とTEM観察	
④空气中疲労試験とTEM観察			⑥まとめ

5) 類似の研究に対する先行性、本研究の独創性

6) 研究の学術的または社会的な意義と期待効果

#### 4. 助成金使途内訳 (記入例をアンダーラインで示しました。)

金額単位：千円

費 目	金 額	内容・使途などの説明
<設備・備品費> (品名) <u>A 装置</u> <u>B 装置</u>	…… <u>800</u> <u>100</u>	(使用目的) <u>〇〇組織観察装置</u> <u>〇〇の画像処理用ソフトウェア</u>
<消耗品費> (品名) <u>C 試料埋込用消耗品</u> <u>D 研磨液・ペースト</u> <u>E 薬品</u> <u>F 混合ガス</u>	…… <u>150</u> <u>80</u> <u>90</u> <u>100</u>	(使用目的) 単価, 数量 <u>試料研磨用 単価〇〇円, 〇〇個</u> <u>//</u> <u>検査用試薬 単価〇〇円, 〇〇個</u> <u>X線回折用</u>
<施設使用費> (機器・施設名) <u>FIB 使用料</u> <u>TEM, EDX 使用</u> (以上, 学内共同施設)	…… <u>320</u> <u>150</u>	(使用目的) <u>TEM 資料作成</u> <u>微視組織観察</u>
<外部委託費> (内容) <u>試料作成</u>	…… <u>100</u>	(目的) <u>材料購入, 加工</u>
<旅費> (旅行先・期間) <u>パリ・3月15日～20日</u>	……	(目的) <u>国際集会 9<sup>th</sup> Int. Conf. Mat Sci.での発表</u>
<謝金> <u>学生アルバイト</u>	……	(内容) <u>研磨補助作業</u>
<印刷費>		
<通信費>	……	……
<会議費>		
<文献費>	……	……
<所属機関に支払う間接経費*>	……	……
合 計	<u>△, △△△</u>	

※ 直接経費の30%以内を所属機関へ支払う間接経費(オーバーヘッド)とすることができます。

※ 一件の契約, 例えば一つの備品の支払いにおいて, 当研究助成の助成金と自己資金を合算して当てることはできません。

**5. 他機関からの研究助成** 科研費等の国の競争的研究費、他の協会等からの助成金はすべて該当します。

**1) 申請者が最近3年間に受領した助成金**

助成開始年度がそれ以前であっても、あるいは本申請と異なるテーマであっても、当該期間に受領したものをすべて書いてください。

受領年度	助成金の名称	受領者名	研究題目	金額 (千円)
～				
～				
～				
～				
～				

**2) 申請者が現在申請中、あるいは近く申請を予定する助成金**

当協会への申請と内容が重複するもののみ書いてください。

受領年度	助成金の名称	受領者名	研究題目	金額 (千円)
～				
～				
～				
～				
～				

※ 同じ研究内容を重複して他の機関に申請されることは差支えありません。但し、他の機関から先に採択された場合には、当協会への申請を取り下げてください。故意に記載せず、重複した助成が判明した場合には、採択を取り消し、助成金の返還を求めることがあります。

※ 本申請と他の申請との関係で記述すべきことがあれば、下の空欄にご記入ください。

**6. 選考において配慮を希望する事項** 研究助成申請にあたって希望することがあれば, 下の空欄  
にご記入ください(自由記載)

**7. 関連論文リスト** 本申請に関連する主に 2010 年以降の申請者自身の論文リスト(論文表題, 著者(共著者), 掲載誌, 巻, 号, 発刊年月)をこのページに収まる範囲で作成してください。申請課題に関連する内容の論文のうち, 代表的なもの 1 編に○印を付けるとともに, その○印を付けた論文 1 編の別刷, コピー等を添付してください。